

JOSAI KAWAGOE'S EMPOWERING ENGLISH CAMP

Josai Kawagoe's English Winter Camp

December 28th, 2023

城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校
講師：ジミー・ダニエル・アラン(本校 AET)

英語で過ごす 1 日

城西川越中学校では 2023 年 12 月 28 日(木)に、小学校 1 年から 6 年の児童を対象に、本校の英会話教員と過ごす英語ウィンターキャンプを実施いたします。

キャンプでは様々な活動を通じて自然な形で英語を学ぶことができます。また、保護者の方に対するセミナーも行い、キャンプ後も親子で英会話を楽しく学び続ける方法をお教えします。

楽しみながら「自然に英語を話す」城西川越中学校の英会話の授業の仕掛けをこの機会にぜひ体験してみてください。

日 程：12 月 28 日(木) 9:00a.m.~3:00p.m.

参加費：4,000 円 (保険代込み)

申込期間：12 月 15 日 (金)

※ 施設の都合上、先着 30 名様までとさせていただきます。(1 クラス 10 名程度)

お申込みは、右の専用フォームよりお願いいたします。

お問合せ 城西川越中学校 Tel : 049-224-5665



PCからお申し込みの際は以下のリンク
<https://www.jjnsc.or.jp/empower-english-winter-camp/>



城西川越中学校
JOSAI KAWAGOE JUNIOR HIGH SCHOOL

(共催)NPO 法人 J.J.N Social Contribution

城西川越の英会話の方針

SEEG(小学生向け、英語サマーキャンプ、英語ウィンターキャンプ)

SEEGとは、Speaking English through Empowering Games(エンパワーリングゲーム※を通じて英語を話す方法)の略で、これは生徒達が自然な形で英語を話すことを身に付けることに焦点を当てた教授法です。この教授法では、双方向で楽しいゲームを用い英語を学んでいきます。この教授法を使って、ご家庭で保護者が子供に英語を教えることもできます。全てのSEEGの教材は「自学」形式をとっており、保護者は数百の双方向ゲームを自分で組み合わせることができます。

一般に大人は子供たちにゲームやおもちゃを与え、子供たちはそのゲームやおもちゃで遊ぶことにより母国語を学びます。SEEGではゲームやおもちゃを用いることで、子供たちは楽しみながら英語を自然に話す能力を高めていきます。

※エンパワーリングゲーム…学習者が教師の補助なしで使うことができるゲーム。学習者が自主的に学べるように促す仕組みになっている。

LEAG(中学生向け)

多くの日本人の生徒にとって英語を学習する際の最大の障壁は、外国語を話すことや周囲から笑われることへの恐れです。これに対し、普通の授業で学んだ事柄を「安心して」英会話の授業で実践に移すために、私たちはLEAG(Learning English through Acting and Games: 演劇とゲームを通じた英語学習)という教授法を実践しています。LEAGの授業では、生徒たちはゲームや演劇の中で自然に発話し、失敗に不安を感じることなく、楽しく英会話を学ぶことができます。また、英語でのコミュニケーションの60%は「言葉によらない方法」(ボディランゲージ、アイコンタクト、ジェスチャーなど)に基づいており、40%が「言葉に頼った方法」(単語、文法、イントネーションなど)に基づいています。LEAGでは生徒に、演劇活動を通じてそれらの「言葉によらない方法」も育成していきます。

LEES(高校生向け)

LEAGメソッドを中学生に対して用いる一方で、本校では高校生に、独自に開発したLEESメソッド(Learning English through Empowering Speeches: エンパワーリングスピーチ※を通じた英語学習)を使用しております。この教授法では、ネイティブスピーカーのような力強いスピーチを学ぶことで、生徒が自信を持ち、コミュニケーションのための技術を確立することに焦点を当てています。LEESの授業では、生徒は英語でのコミュニケーション能力に自信を持ち、自分の将来の職業や生活全般に役に立てるために、ネイティブスピーカーのようなスピーチやプレゼンテーションを身につけることができます。

※エンパワーリングスピーチ…教師がスピーチ内容を強制するのではなく、生徒が話したい内容をスピーチテーマとすることで、生徒の話すことに対するモチベーションを高めるスピーチ。



本校AETの紹介

ジミー・E・テトゥアヌイ (左)

アメリカ・ハワイ州出身。ブリガム・ヤング大学を卒業後、シドニー大学にてTESOLを専攻し、修士号を取得。日本在住歴21年。英語教師歴は20年以上(城西川越では13年)。英語を教えることに情熱を傾けており、生徒たちに将来への機会を広げるために、楽しんで英語を学んでほしいと願っている。

ダニエル・ウェルエンド (右)

カナダ・オンタリオ州出身。大学では宇宙工学を専攻し、卒業後は航空電子工学関連の仕事に従事。その後TEFLの学位を取得し、日本で10年以上の教職経験を持つ。日本の若者に、グローバル社会で役に立つ英語力を身につけさせることを常に目標に置いている。日本人と結婚し、3児の父でもある。

アラン・ウィンフォード (中央)

オーストラリア・ブリスベン出身。グリフィス大学にて環境学を専攻し、修士号を取得。その後TESOLを取得。日本で7年間の教職経験を持つ。2021年に日本人女性と結婚。趣味は読書、キャンプ、ハイキング、水泳。文化、習慣、人、食事など、日本の全てを愛している。